

東海村写真連盟 「東海フォトクラブ」紹介

東海フォトクラブ 代表 河野 弘

東海フォトクラブ会則

第1条(名称)

本会は「東海フォトクラブ」と称する。

第2条(目的)

本会はカメラを通して、会員相互の研鑽と親睦を図ると共に、地域文化事業に対し、積極的に参加し、住民との交流を深める。

第3条(組織・資格)

代表1名 副代表1名 事務局1名 会計1名 幹事若干名を置く。

本会の目的に賛同する者、住所の村内外は問わない。

第4条(事業)

月例研修 月2回(第2月曜、第4水曜)

東海フォトクラブ展 年1回(1回/3年・駅ギャラリー展)、中丸コミセンに常設展示

小グループ撮影会(随時計画)

第5条(会費)

年会費 2,000円

第6条(その他)

★ 会員 現在9名(平成30年3月1日現在)である。

会員は適正規模と認識しており、現在募集の予定はない。是非入会希望の方は、準会員として、1年の猶予を与える。

本会の特徴

- 1 本会は中丸写真教室(本会の前身)第1回を(17.8.1)開きました。丸13年が経ちました。
- 2 会員一人ひとりが、第2条の目的達成のために、よく理解し、実践していることです。
- 3 撮影会後には、写真展を実施し、作品には必ず、題名を付けることです。(同じ日・同じ場所の撮影でも)

役員

代表	河野	弘
副代表・会計	萩野谷	泰伸
事務局	笠原	武士
幹事	茂木	武幸

2018年 東海フォトクラブの活動計画

1. 主な活動内容

- 1) 定例会は第2月曜(コミセン)・第4水曜(原子力館)の2回/月とし、祝日は行わない。
 - ・ 時間はコミセン 13:30～16:30、原子力館 13:30～16:00 とする。
 - ・ 作者の撮影時のポイントや思いを話すようにする。
- 2) 話し合いにより、四季折々の撮影はその都度実施する。
 - ・ 撮影会は東海村写真連盟主催の撮影会に参加するようにする。
- 3) フォトクラブ写真展(駅又は原子力館ギャラリー)を1回/年実施する。
(駅ギャラリー展は会員で話し合いの上決める)
- 4) 中丸コミセンの常設写真展示は継続して実施する。(割り当て表に順ずる)

2. 定例会日程、常設展示割り当て(2か月交替とする)について

月	例会日		常設展示割り当て	月	例会日		常設展示割り当て
	コミセン	原子力館			コミセン	原子力館	
1		24日	(打越)(萩野谷)	7	9日	25日	(茂木)(萩谷)
2		28日		8		22日	
3	12日	28日	(金澤)(会沢)	9	10日	26日	(青木)(萩野谷)
4	9日	25日		10		24日	
5	14日	23日	(河野)(笠原)	11	12日	28日	(打越)(河野)
6	11日	27日		12	10日		

3. 東海フォトクラブ展(第28回)について

- 1) 狙い フォトクラブ一人ひとりの個性ある質の高い作品を発表すると共に、創作活動に努める。
- 2) 期日 2018年 6月26日(火)～7月8日(日)
- 3) 時間 10:00～16:00
- 4) 会場 原子力科学館ギャラリー
- 5) 搬入 6月25日(月) 10:00～
- 6) 搬出 7月 9日(月) 10:00～
- 7) 作品 半切(ノトリサイズ可)またはA3ノビ・パネル又は額装とし、マット色は黒に統一する。
課題は「日本庭園 part II」とする。
課題作品1点/人、自由作品2点/人。
- 8) 費用 会費より充当する。
- 9) その他
 - ① 作品のセレクト: 5/14の例会時に、データ又はプリントを持参する。
類似作品の展示を避けるため、事前に出展作品の開示をおこなう。
 - ② 会場当番は、1日制の交替で行う。(10:00～16:00)
 - ③ 作品の製作(プリント)は、各自で行う。
 - ④ 前回の芳名帳を基に案内状(写真入)を出す。

4. その他

- 1) 茶の里ギャラリー写真展は行わない。
- 2) 撮影研修会は実施困難なため、写真連盟の撮影会に便乗する。
- 3) 定例会でのデジタルデータは各自セレクトしたものを 20 コマ/人程度とし、その中で学習する。
- 4) 不測の事態が生じた場合、定例会で審議する。
(会の行事参加中の場合、会費より見舞金を出す (2010 年度事例有))

戻る